

平成23年度第2回千葉県図書館協議会議事録（要録）

- 1 日 時 平成23年12月14日（水）
午後1時30分から午後2時45分まで
- 2 場 所 千葉県立中央図書館 講堂
- 3 出席者 （委 員） 岩 澤 健 一 川 津 敏 子
佐 藤 宗 子 島 崎 喜 明
高 梨 晶 子 竹 内 比 呂 也
本 吉 貞 夫 湯 目 千 津
- 中央図書館長 高 石 卓
西部図書館長 江 澤 義 夫
東部図書館長 森 田 幸 三
他10名
（傍 聴 者） なし

4 議 題

- (1) 平成23年度千葉県立図書館運営状況について(経過報告)
- (2) 平成23年度図書館サービス指標自己評価基準（案）について
- (3) その他
(ア) 学校図書館への図書宅配事業について
(イ) 次期電算システム受注者の決定について
(ウ) 「図書館海援隊」事業について
- (4) その他
千葉県公立学校教職員互助会の公立図書館等図書等寄贈事業について

会議開会宣言の後、図書館協議会会議運営規則第6条の規定に基づく会議成立の確認がなされた。

<会議録>

- | | |
|------------|--|
| 議 長 | それでは議事に入らせていただきます。
本日の議事は、(1)(2)(3)となっております。
初めに(1)平成23年度千葉県立図書館運営状況について(経過報告)について事務局説明願います。 |
| 事務局
議 長 | (1)平成23年度千葉県立図書館運営状況について(経過報告)説明。
今報告の中にありました図書館海援隊の事を含めまして西部・東部図書館から補足がありましたらお願いします。 |
| 事務局
議 長 | 西部図書館長より海援隊について説明。
事務局からの説明が終わりましたが、ただ今の説明につきまして質問 |

ご意見がありましたらお願いします。

- 事務局 図書館海援隊の事につきましては、西部図書館長から説明がありましたが、平成23年7月12日現在では西部図書館は入っていませんね。
- 事務局 入っておりません。
- 事務局 資料に加盟館が書いてありまして、都道府県ではこれまで15館。千葉県が16番目ということです。
- 議長 その中に西部図書館が新たに参加したわけですね。更に、中央図書館、東部図書館が参加するということですね。
- 議長 この資料だけですと理解出来ませんが、海援隊に参加するとどういったメリットがあるのでしょうか。
- 事務局 広報等の事では、文部科学省のホームページの図書館海援隊のコーナーに参加している図書館名や、館のホームページアドレス、加盟館の事業等が掲載されます。
- 議長 今後も会貢献等にかかわる事業内容を紹介し、全国に恥じないような事業内容にしていきたいと思えます。
- 議長 PRのひとつとして発信できるでしょうし、他館の情報もきめ細かな情報を入手することが出来るというようなことでしょうか。
- 事務局 中央図書館では図書館海援隊の参加を機会に、判例集や実用書等の情報提供だけでなく、これからは法テラスとか法律関係のところと連携を密にしたサービスが行えないか検討中であり、これにより更に利用者が便利になると考えています。
- 議長 他に図書館海援隊について何かご質問等ありますか
- 委員 財政的な支援はないですか。
- 事務局 ございません。
- 議長 他に何かありますか。図書館海援隊以外の事でも。
- 委員 高校や特別支援学校への図書宅配事業について、資料にセットの一覧がありますが、高校と特別支援学校ではずいぶん必要とするものが違うと思えますが、それぞれの解題みたいなものを見ながらセットで選べるといったような形になっているものなのでしょうか。
- 議長 国際子ども図書館のように、一覧以外に一冊づつの解題があると内容がわかりますよね。逆に高校の先生方が、必ずしもこういう本に精通していると限らないので、セットを選ぶ手がかりや、実際どう利用するか、説明があるのでしょうか。そうでないとちょっともったいないような気がしますし、かなりレベルの高いところから中堅どころとか、いろいろな高校があるので、うちの高校だと逆に易しすぎてしまうということもあるかもしれません。
- 事務局 選書については司書の力が必要なのですが、今回の宅配事業を始める前に各高校の方々が集まる場所に説明を行うと伴に、学校現場への要望

委員

を調査をしたうえで、それと併せて選書にあたりました。

宅配事業につきましては、高校ですとかなり利用度が高いです。時期にも寄りますが、修学旅行や保健体育の保健の授業の薬物のガイド、授業の中で研究発表をするというようなことがあると思います。

ただ、全部の学校の教員が充実しているわけではありませんので、その辺が厳しいところでもあります。高校の図書館部会も、ものすごく熱心に活動していますので、かなりの選書能力があると考えております。新しい学習指導要領の中でプレゼンテーションを重視していく、生徒たちが調べてそれを発表するという形が取られると思いますので、宅配事業はかなり教員が助かると思います。

議長
委員

ありがとうございました。他に何かありますか。

ポプラディアは、小学校高学年から中学生向けぐらいのもので、本当は高校の調べ学習だったら、ポプラディアより高度なもので調べて欲しいというところがあったものですから、必ずしもヤングアダルト向けというよりは一般向けの本なども入ってくる、その辺が小中の調べ学習と違うかなと思います。

議長
事務局

何か、事務局の方でありますか。

今回これを始めたきっかけは、中央エリアの高等学校は最寄りの市町村に頼むか、担当教諭がここへ直接来るか、不便さがありました。丁度国民読書年で、県立高校に直接協力車で回るといっわけにはいかないので、宅配でやってみようということでも認められたものです。おいおい学校が求める本を用意するといったような方向で考えていきます。

議長
事務局

高等学校側としては、大変喜ばれることだと思いますが、これは試行の段階で行っているということですか。

試行ではありません。

平成 24 年度の予算は未だ分かりませんが、予算を確保して来年度は今年よりも充実をさせていこうと考えております。

副議長

宅配事業というのは将来的には有効なツールになると思います。

ただ、現段階ですと現場の教員がこれを知らない。現実問題として、例えば管理職のレベルは知っていますけれども、各教科の職員がこれを知っているかという知らない。実際には各教科の教員が、例えば検索のデータベースを使ってこの本が借りたいといったときに、宅配事業のルールに乗れるようなシステムになると非常に有効だと思います。

事務局

中央エリア管内は県立高校と特別支援学校と市立高校と私立を含めて 113 校あります。これから更に周知されれば、ほとんどの学校から要望が寄せられるという気がします。

議長
事務局

副議長からもありましたが、周知はどれくらいされていますか。

機会ある毎に、色々なところの会議で説明をしています。

委員 私も高校の図書館部会としてはかなりレベルの高い研修をやっていますけれども、全部の学校が参加をするというわけではないです。宅配事業があるということをもっともっと積極的に研修会等で流していくというようなことをやらないと十分に伝わらないと思います。

議長 私の方からも各学校に校長協会等を通じて、説明したいと思います。一般の教職員の方に十分浸透しているかということをご心配されているわけです。大変素晴らしい事業なので周知方よろしくお願いします。他に何かありますか。なければ先に進ませていただきます。

事務局 (2)平成23年度図書館サービス指標自己評価基準(案)について説明願います。

議長 (2)平成23年度図書館サービス指標自己評価基準(案)について事務局説明。

議長 平成23年度図書館サービス指標自己評価基準案が示されたわけですが、このことについて何かご質問等ありますか。

事務局 評価は、緩やかになったということですよ。

議長 そうです。

事務局 とにかくこれまでの案だと90%以上であっても評価はB、100%以上いかないとAにならないということでしたので、他県と比較検討しましてこのような形にしました。

議長 これはいわゆる自己評価ですよ。自己評価というのは内部評価のことですか。

事務局 そうです。内部評価したものを毎年、図書館協議会の意見を受けることとしています。

議長 よく学校などは外部評価もやっていますが、一般の利用者の評価というのはないですか。

事務局 図書館といたしましては、外部評価を図書館協議委員に講評していただくことにしております。

議長 評価基準を変更するということですが、何かご意見等ありませんか。

委員 基準についてはこれで結構だと思います。

議長 項目については、要覧の11ページ、12ページの項目に対してということですね。今年度の事業の中で気になっていたのが、中央図書館の「定例おはなし会」の平均の参加人数が2.1人。22回実施で参加人数が90人ですね。4から5人位の参加人数で、また図書館活用ミニ講座も平均1.3人の参加人数。それから研修の方で東部図書館の図書館の達人は平均1回。中級編にいたっては1人の参加しかいない。せっかく取り組まれているのに1回につき1人2人、おはなし会に4、5人しか参加されていないということが、回数を行われていても実績としての効果がどれだけ上がっているのか。やったから取り組みが、100%以上で

あればAAになるわけですからそれで良しとして良いのか多少疑問に思うところでは。

議 長

事業をやることそのものの価値もあるわけです。やったことに対してどれだけ効果があったのか、ある程度内容も考えていかなければならないことだと思うんですね。

せっかく良い事業をやっているにもかかわらず参加者数が少ないと十分な目的が達成できない場合がありますから、日程やPR活動等も十分検討しながら出来るだけ多くの参加者を募るなど、それぞれ努力をよろしく願っています。

他に特になければ(3)のその他については、経過報告の中で説明し、意見をいただきましたので(1)(2)(3)について委員の皆さんご了承頂きますでしょうか。

(委員)

(異議なし)

議 長

議事は以上で終わりました。

次に(4)その他 千葉県公立学校教職員互助会の公立図書館等図書等寄贈事業について事務局、説明をお願いします。

事務局

(4) その他 千葉県公立学校教職員互助会の公立図書館等図書等寄贈事業について事務局説明

議 長

この件につきまして、質問等ありますでしょうか。

委 員

質問というよりも若干意見ですが、注意しないとういうのは、ばらまきに見えてしまいます。額はそんなに大きくないですが、ちょっと気になっております。先ほどの説明からすると全市町村へとか、財政力に応じたやり方というのは互助会からの意向かと思いますが、もしも可能であれば財政力に応じたというよりも、やる気のあるところに配分するということが考えられると良いのではと思いました。

新しいサービスを作るといようなことを考えると、公共図書館に対してこう言ったお金を使って最初スタートするための投資というようにすることで、最終的には千葉県全体の図書館活動の先進につながるのではないかといいような気がします。

互助会の事業であり、互助会の意向ということもあると思いますが、機会がありましたら県立図書館の方からそういう方向性もあるのではないかといいことを是非お伝えいただければ良いと思います。

議 長

そういうご意見もありましたが、事務局何かありますか。

事務局

事業を継続するにあたり、このような様々な意見が出ましたということをお互助会へ伝えてまいります。

委 員

今の話に係わることもかもしれませんが、例えば浦安市が29万円を1年間で使うのはそんなに考えなくてもいいかもしれません。

いっぺんに100万円を超えるような、しかも5年間もないというところ

は、非常に悪い例を考えてしまいますと、たまたま今年ベストセラーになった本のリクエストがあって、それを今年は 10 冊購入したいと、でもその後 4 年間は何もないという形になると、本は情報が早いですから 2～3 年したら品切れ絶版になってしまうものもあり、5 年間で全部ということももう一つの考え方ですが、例えば一定以上の額であれば 2 期に分けてとか 3 年に一ぺんづつ 50 万づつの方がまだ選ぶ選書の幅が広がると思います。使い方としては、本来随時使えるということがあるのではないかと意見を意見として申し上げます。

議 長

他にご意見、ご要望はありますか。

これは、この図書館協議会からの意見という形で互助会に要望するということができるわけですね。今年度からスタートで 5 年間ですね。

特に無いようでしたら、この件については終わりにしたいと思いますが、委員の皆さんには、せっかくの機会ですから何かご意見、ご要望、ご提案とかありましたらお願いします。何かありますでしょうか。

委 員
事務局

地震の後の影響はまだ残っていますか。

地震の際に被害を受けましたガラス等につきましても、早急に直しましたが、外溝、犬走り、インターロッキング、壁などに関しては、これから工事になります。国の補助申請では、1 千万円以上の見積をだしています。今週末に入札を行いまして業者が決定次第、工事に入る予定です。一応 2 月半ば位までの工事の予定で考えているところです。それが終わりますと、震災関係の工事は終わることになります。

議 長
委 員

他に何かございますか。

学校の図書館なども震災の影響を受け環境整備に関し、厳しい状況にありますけれども、中央図書館も相当制約がかかりますよね。そういうことを含めて利用について、図書館の環境状況、設備とか利用者の増に影響すると思うんですけれどもこれはもう今の時代だから仕方がないと思いますが、いろいろ利用する人たちを増やしていくことは大変だなと思います。学校も大変ですのでこういう大きな施設になりますと、それなりのことが期待されて大変ではないかなと実感しております。

議 長

施設を整備し、快適で良い環境の施設に多くのお客さんが集まってきます。

県立 3 館の中で西部、東部は新しいですが、中央図書館についてどのように、今後この施設を耐震に伴う補強工事にとどめるのか、あるいは建て替えを今後していくのか、そこらへんのところはどんなふうになっていますか。

事務局

来年度調査費を要求していて、建て替えは今のところ考えていません。

まず、耐震と機能の強化と言っていますが、展示スペースの確保、書庫棟を別にさせていただきたいと話しています。自動書庫化になると 30

万冊位、蔵書能力が高まるようです。

やれるところからやってもらうということで、副知事ヒヤリングまで終わって好感触を得ています。来年度調査費が認められればこの後、先に美術館、その後図書館ということです。

議 長
事務局

美術館の方が新しいでしょう。

そうです。しかし美術館の空調関係、屋根もかなり傷んでいます。

なお、現在展示スペースの柱にブルーの囲いがしてあり、展示しにくいような形になっていましたが、それを取り払い、また新聞も玄関先にありましたが、それも本来の新聞を読む所に持ってきました。

原点に戻すという工夫をしております。今、入りきらない本は東部、西部図書館の方に協力を得てかなりの本を移動しています。

もう一つは、この3階が新聞雑誌室になっていますが、文化会館側に出られる通路があります。本来であれば文化会館の利用者も下まで来なくても途中からこの館に入れるという造りになっていますが、現在そこを閉めてあります。3月11日の震災の時にそこを閉めてありますから3階の人たちは出口がなく、らせん階段をおりてやっと外へ出てきたという場面がありました。その橋も修繕工事し、通行が可能となりました。

さらに、ブックディテクションを置くと通路としても生かれますし、大高設計の原点に帰れるのではないか、亥鼻公園一帯が魅力あるものになるのではないか、という気がしております。

議 長
事務局

来年の調査というのは予備調査ですか、それとも本調査ですか。

本調査です。この建物の総規模を決めるものです。今、機能不全になっている図書館を一部の機能不全なのか、建て替えが必要なのか、調査させていただきます。

議 長

建て替えることが不可能であるのならば、こういう建物は特殊構造ですからそれぞれの部屋によって構造耐震指標というのが違う、IS 値が違うんですね。非常に耐震に弱い部屋と強い部屋があって、すぐやらなければならない部屋がありますから早く調査して、それなりの対応をしていかないと 非常に危険だと思います。

是非、早くお願いしたい。

事務局

あまり大きな夢を語りだすと、またその工事さえ先延ばしになっていくようで、小さな夢の実現から、つかめる所からつかんで、やれる所からやっていきたいと思います。

議 長

よろしく申し上げます

特になければ、今日の会議はこれで終わりにしたいと思います。

議事の進行にご協力ありがとうございました。

以上で、平成23年度第2回千葉県図書館協議会を終了した。

|